

2015.

3. 21 (土) → 5. 6 (水)

開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 / 月曜日・祝日の翌日 (5/4も開館)

入館料 / 一般200円、小中学生100円

写真でふりかえる伊吹山

人と伊吹山のかかわりを探る 2



米原市伊吹山文化資料館

展示協力 / 上野区観光振興会

Mt. Ibuki-Museum

写真でふりかえる伊吹山

一人と伊吹山のかかわりをさぐる 2—

作家の司馬遼太郎は、伊吹山について「牛の背のように大きく…地球の重量をおもわせるようにおもおもしろい」山としつつ、採掘した部分を「饅頭でもかぶりとったように」と書いています（『街道を行く近江紀行』）。

現在の伊吹山は、昭和27年からはじまったセメントの採掘によって、かなりシャープな稜線をしています。これは、日本の高度経済成長を支え、地域を支えた姿でもあります。

「削られるまえの伊吹山は、どんな姿だったのだろう？」

新幹線や名神高速道路からこの山を望むとき、多くの人がそう思います。

本年4月に、登山口の集落・米原市上野区で写真誌『写真でふりかえる伊吹山物語』の刊行が予定されています。500点近い、明治・大正・昭和の懐かしい写真で構成されています。今回は、上野区のご協力をいただいて、伊吹山の写真を中心に約40点を展示いたします。

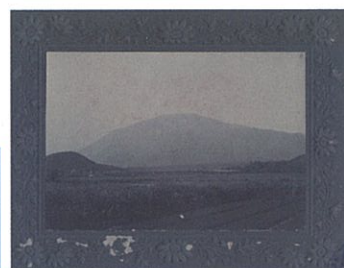
ご年配の方にとってはなつかしい。若い人には新鮮な、開発前の伊吹山の景観。もう二度ともどれない時代を振り返り、今後の伊吹山と人とのかかわりを見つめなおす機会になればと思います。

発刊記念講演会（主催／上野区）

- 日時／4月18日（土）PM1：00～PM3：00
 場所／上野老人憩いの家（米原市上野）
 内容／講演1「伊吹山のかげがえのない自然とその保全」
 講師 イーグレットオフィス 須藤 明子 氏
 講演2「伊吹山の仏像が語る信仰」
 講師 MIHO MUSEUM 高梨 純次 氏

申込み不要
参加無料

※当日、写真誌の販売もおこなう予定です。
 ※問い合わせは、資料館まで。



大正時代（上野区蔵）



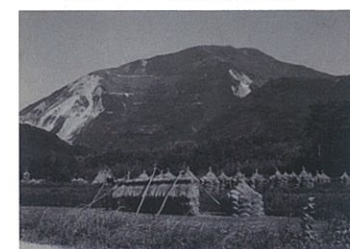
昭和5年（上野区蔵）



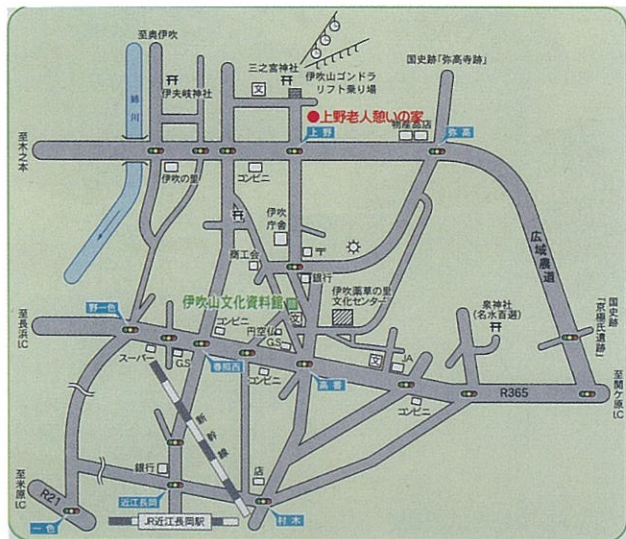
昭和初期（着色絵葉書／個人蔵）



昭和28年（滋賀鉦産蔵）



昭和31年（上野区蔵）



【交通案内】

JR・バス：東海道線近江長岡駅下車 湖国バス「伊吹登山口」行きで「ジョイいぶき」下車、徒歩8分
 車：名神高速米原・関ヶ原、北陸道長浜各IC から約15分

米原市伊吹山文化資料館

Mt. Ibuki-Museum

- 体験教室（要予約）
「まが玉」や「ガラス玉」作りの体験などを行なっています。学校や子ども会の活動にご利用ください。
- 地域のサロン
館内には、なつかしい古い道具をたくさん展示しています。展示を見ながら、むかし話に花が咲きます。
- ティ・サービス
古い道具を使った「回想法」にも取り組んでいます。民具の貸し出しもおこないます。
- 廃校利用やボランティア活動の視察・研修
「文科省 全国廃校リニューアル50選」に滋賀県で唯一、選ばれました。市民の方による「友の会」活動も活発に行っています。
- 「伊吹山登山」の事前学習にも最適！

こんな時、ご利用下さい